

「健康づくり」で「地域づくり」～休校・休耕地利用による地域再生事業～

鹿児島県西之表市

概要

過疎高齢化がすすみ、市内で唯一10年前に小学校が休校したままになっている中割校区にて、休校小学校を拠点とした予防医学に基づく健康づくりイベントの取り組みを行うとともに、校区内「生姜山」集落の名前に由来があり、健康野菜の代表的存在となっているショウガ栽培を復活させ、新たなコミュニティビジネスとしての展開を図る。

事業の内容

- (1) 休校小学校での「元気を養う学びの場」開催に向けての整理改修作業、イベント並びに体験ツアーの開催
- (2) 休耕地を耕作し、新しい「なかわり生姜山農園」として運営
(有機栽培用土づくりに必要なBMW製造装置の設置、堆肥まき、試作しょうがの栽培)
- (3) 「なかわり生姜山農園」のブランディング作業
(ホームページの製作、商標登録申請、PRイベントの実施、紹介パンフレット製作)
- (4) ショウガの加工、ショウガ商品の開発作業
(休校小学校内に加工室を整備、商品化ラインや資材の整備、試作品パッケージ等の製作)

総事業費

11百万円

ポイント

* 「元気を養う学びの場」開催ポスターやフライヤー、「なかわり生姜山農園」ホームページ、パンフレット、試作品パッケージまですべてのデザインを「地域おこし協力隊」が担当。地域の特性を生かしたインパクトのあるブランディングが図れた上に、紹介パンフレット内に、移住100周年を迎える集落の成り立ちを挿絵と共にまとめたことが地域の人々に感動を与えた。

事業の成果

- * 10年間使用されないままだった休校小学校を、地域の人々の手により整理・改修し、新しい集いの場、雇用の場として復活させたことで、地域が賑わいを取り戻しつつある。
- * 休耕地を耕作し、新しい「なかわり生姜山農園」の運営をスタート。2反5畝の荒れ地が、地域内で活用されることで、今後の収穫を通して、コミュニティビジネスとしての展開が可能となった。

「元気を養う学びの場」開校記念講演会



「東京ローカルレストラン×西之表市」の開催



屋久島有機紅茶
とのコラボ試作品
の誕生

それぞれの素材を
前面に出してのパッ
ッケージデザインが
完成

